

復興教育のこれまでと未来の教育

教育復興シンポジウムX

2021春 教育実践福島ラウンドテーブル

2021
2・13 (土)

ー10:00~16:00ー

オンライン (Zoom) 開催

東日本大震災から10年を迎えます。「復興教育のこれまでと未来の教育」をテーマに、午前の部は教育復興についてのシンポジウム、午後の部はラウンドテーブルを行い、教育現場を支える経験と叢知を交流させ省察し学び合い、地域を拓く“生きる力”を育む創造的教育実践の展開につなげます。新型コロナウイルス感染防止ため、Zoomでのオンライン開催となります。初めての方でも自宅でも気軽に参加できますので、多くの方の参加をお待ちしています。



【午前の部】全体 (事前に午前の部の会場URLをお送りします。9:30から開場しています。)

10:00~10:10 主催者挨拶

10:10~12:10 教育復興シンポジウム 「復興教育のこれまでと未来の教育」

教育復興シンポジウム

東日本大震災から約10年が経過し、福島県内では学校の内外で様々な復興教育の取り組みが積み重ねられるとともに、「教育復興」のために多くの組織で多様な活動が行われてきました。この間、“大震災後の福島県の教育復興を進める会”では、震災の経験を風化させることなく、その経験を新しい社会の創造につなげることを目的に、教育現場を支える経験と叢知を交流させ省察し学び合う場として、毎年「教育復興シンポジウム」を開催してきました。

この度、震災から10年目の節目の機会に、福島県におけるこれまでの復興教育を振り返るとともに、その成果を今後の教育復興につなげることを願い、「復興教育のこれまでと未来の教育」をテーマとしたシンポジウムを開催することにしました。

本シンポジウムでは、この10年間の浜通り地域における復興教育のための取り組みを手がかりとして、「教育復興」とともに、これからの社会における未来の教育のあり方についての考えを深めたいと思います。

1 復興教育実践報告 「ふるさと創造学について」

富岡町教育長 岩崎 秀一氏 (10:10~10:35)

「ふたば未来学園における復興教育の取り組みについて」

哲学対話 ふたば未来学園特任講師 神戸和佳子氏 (10:35~10:50)

心のケアについて カタリバ/双葉みらいラボ 長谷川勇紀氏 (10:50~11:05)

総論 ふたば未来学園副校長 南郷 市兵氏 (11:05~11:25)

2 学校状況調査アンケート報告 (これまでの10年間のまとめ)

福島大学人間発達文化学類准教授 鍵和田 賢氏 (11:25~11:40)

3 パネルディスカッション (11:40~12:10)



12:10～13:00 昼食・休憩（参加者各自の計画で・・・）

【午後の部】グループごとに

（6人程度のグループに分かれます。事前に参加するグループのURLをお送りします。なお、終了はグループごとになります。）

13:00～16:00 ラウンドテーブル

「教育実践福島ラウンドテーブル」は、福島大学教職大学院生や県内外の国公立保育所・幼稚園・認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校、教育委員会等に勤める教職員、さらには、保護者や市民等が、それぞれの立場による実践や悩み等を交流する場を提供する「学びのコミュニティ」です。日々の教育活動や課題、悩み等について自由に語り合います。

今回はZoomで少人数グループの会場に分かれ、教職大学院生の報告や参加者の実践等をもとに交流を深めます。

ラウンドテーブルの魅力

～前回参加された方々の感想～



- 年齢を問わず、学生から現職の教員というように幅広い職業の方々と話し合いができる機会は非常に貴重だった。実際の学校現場で抱える問題は、私が把握しているものに収まらず、多様に顕在化していることに気づき、その解決や方法を考えていくことが教師として大事だと思った。（大学生2年）
- 教育課程編成という学校現場において絶対に欠かれないテーマを軸に、様々な学校の実態を踏まえ情報を交流することができた。学校に持ち帰り、今まさに進めている最中である来年度の教育課程編成に生かしたい。（小学校30代）
 - 初めて参加したが、真剣に教育や授業の在り方について考えている先生がいることに勇気をいただいた。福島の子供たちの成長のために、今後も参加し、情報交換や交流を広げていきたい。（中学校40代）
 - 大変充実した時間をいただいた。事務職員の立場で何ができるかを考えることができた。次は実践につなげたい。（学校事務50代）
 - 職種や校種の枠を越えた少人数での協議は、大変刺激的であるとともに、改めて児童生徒に向き合う上での多面的多角的視点を獲得ことができ、実り多いものとなった。（教育行政50代）

報告者募集！

（ミニレポート報告）

- 普段取り組んでいることや悩み、疑問など、グループ協議の中で実践報告として話題を提供してくださる方を募ります。報告資料は、ペーパー1枚程度の簡単なものでも結構です。報告資料の取り扱いについては、後日お知らせします。
- 当日は、本学の院生23名も、これまでの学びの道のりを報告します。

◇ 参加申し込み方法 ◇

本学の人間発達文化学類Webページ（<http://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp>）の「教育復興シンポジウムX・2021春 教育実践福島ラウンドテーブル」の申し込みフォームから、2021年1月24日（日）までにお申し込みください。

当日参加もできます。お問い合わせ先にメールでお知らせください。

* 今回はZoomによる開催となります。事前に参加方法についてお知らせしますので、**メールアドレスを必ず記載**願います。安心して気軽にご参加ください。

【お問い合わせ先】

福島大学人間発達文化学類支援室

TEL 024-548-8103

FAX 024-548-3181

Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科
大震災後の福島県教育復興を進める会
共催 福島県教育委員会
後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県小学校長会 福島県中学校長会
福島県国公立幼稚園・こども園協議会
福島県私立中学高等学校協会

福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会
福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会
福島県私立幼稚園・認定こども園連合会